

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公表番号】特表2008-532641(P2008-532641A)  
 【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-033  
 【出願番号】特願2008-500898(P2008-500898)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)  
 A 6 1 B 1/04 (2006.01)  
 A 6 1 B 1/06 (2006.01)  
 G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 A  
 A 6 1 B 1/04 3 7 0  
 A 6 1 B 1/00 3 0 0 D  
 A 6 1 B 1/06 A  
 A 6 1 B 1/04 3 6 2 J  
 A 6 1 B 1/00 3 3 0 C  
 G 0 2 B 23/24 B  
 G 0 2 B 23/24 C

【手続補正書】  
 【提出日】平成21年3月5日(2009.3.5)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

画像装置、光ケーブル及びコネクタを有するハンドル、及び

光ファイバデバイスを取り囲む使捨てシースであって、コネクタによりハンドルに接続されかつ3mmより小さい直径を有する前記シースを備え、哺乳類の身体内で観察するための光ファイバプローブ。

【請求項2】

ハンドル内に電池を更に備える請求項1の光ファイバプローブ。

【請求項3】

撮像装置に接続されたプロセッサを更に備える請求項1の光ファイバプローブ。

【請求項4】

ハンドル内に光源を更に備える請求項1の光ファイバプローブ。

【請求項5】

光源が発光ダイオード(LED)又は赤、緑及び青の発光ダイオードのような複数個の発光ダイオードを備える請求項4の光ファイバプローブ。

【請求項6】

光源が窒化ガリウムダイオードレーザーのようなレーザーを備える請求項4の光ファイバプローブ。

【請求項7】

制御ユニットにビデオ画像を送信する無線送信機を更に備える請求項1の光ファイバプローブ。

ロープ。

【請求項 8】

無線送信機回路モジュール、無線受信機及びアンテナを更に備える請求項 7 の光ファイバープロープ。

【請求項 9】

電池、光源、プロセッサ及び撮像装置に接続された電力調整回路を更に備える請求項 2 の光ファイバースタイル。

【請求項 10】

使捨てシースが、2 mm 未満の直径で 50 mm 及び 2500 mm の間の長さを有する同心のファイバースタイルを備え、更に、使捨てシースがハンドル及びファイバースタイル撮像装置に取り外し可能に接続される請求項 1 の光ファイバースタイル。

【請求項 11】

光ファイバースタイルがハンドルに強固に接続された撮像用ファイバースタイルのバンドルを備え、撮像用ファイバースタイルのバンドルの末端が光カプラーに光学的に連結されている請求項 1 の光ファイバースタイル。

【請求項 12】

撮像用ファイバースタイルのバンドルの末端にレンズ、又は側方を見るプリズムを更に備える請求項 1 の光ファイバープロープ。

【請求項 13】

シースが、膨張用流体なしに身体内腔内に挿入可能である請求項 1 の光ファイバースタイル。

【請求項 14】

ハンドルに連結可能であるベースユニットを更に備え、該ベースユニットが電池充電器を備える請求項 1 の光ファイバースタイル。

【請求項 15】

ベースユニットが送信機及び通信網接続を備え、ベースユニットがコンピューターに接続され且つファクシミリ装置に接続される請求項 14 の光ファイバースタイル。

【請求項 16】

撮像装置が 300 nm から 1900 nm の範囲の光を検知する請求項 1 の光ファイバースタイル。

【請求項 17】

シースを識別する識別回路を更に備える請求項 1 の光ファイバースタイル。

【請求項 18】

識別回路が、シース上のバーコードを読み取るバーコードリーダーを備えるか、又は無線周波数識別システムを備える請求項 17 の光ファイバースタイル。

【請求項 19】

識別回路がハンドルに備えられる請求項 17 の光ファイバープロープ。

【請求項 20】

シースが電子式識別子を備えるか又は一連番号を有する請求項 17 の光ファイバープロープ。

【請求項 21】

撮像装置により検知される組織内に蛍光を誘導する光源を更に備える請求項 1 の光ファイバープロープ。

【請求項 22】

撮像装置が、可視及び近赤外線領域の光を検知するか又は700 nm から 1000 nm の範囲の赤外線を検知する請求項 1 の光ファイバースタイル。

【請求項 23】

組織標本を集めるために切断用部材を更に備える請求項 1 の光ファイバースタイル。

【請求項 24】

身体の内腔又は窩洞内の対象領域に医薬又は造影用染料を給送するための流体給送通路を

更に備える請求項 1 の光ファイバーデバイス。

【請求項 25】

ハンドル上の制御パネル及びハンドル上のディスプレイ装置を更に備える請求項 1 の光ファイバーデバイス。